

# 次代へ受け継ぐ100年の想い ～社会への責任を担った100年の歴史～

明治43(1910)年4月15日に開業して以来、京阪電車は激動する社会・経済状況のなかをお客さまに支えられて歩んできました。お客さまに本当によろこばれるサービスとは何か、どうすればより安全で安心な鉄道となるか、社会に貢献するにはどうすればよいか。一人ひとりがそうした想いを持って誠実に仕事に取り組み、鉄道という公共性の高い事業を中心に、地域に密着したさまざまな事業活動を行う企業グループとして発展してきました。

1915 (大正4年)



### 日本初の色灯三位式自動閉そく信号機

運転保安の向上のため、当時の最新設備である色灯三位式自動閉そく信号機を日本で初めて営業運転で使用しました。



1927 (昭和2年)



### 日本最初のロマンスカー

日本で最初に導入したロマンスシート（進行方向に向かって2人ずつ座る転換式クロスシート）を備えた車両は、「ロマンスカー」という愛称で呼ばれ、お客さまの大きな反響を呼びました。

1954 (昭和29年)



### テレビカーの登場

前年に運行を開始した新鋭の特急車両にテレビを搭載した「テレビカー」がデビュー。まだ家庭にテレビが普及する以前のこと、一躍人気を集めました。

1920

1930

1940

1950

1912 (大正元年)



### 枚方で初めて菊人形を開催

開業の秋に香里の地で第1回目が開催された菊人形は、この年から会場を枚方に移し、以後も大いに人気を博しました。

1952 (昭和27年)



### 京阪スーパーマーケット開業

戦後の鉄道の復旧が一段落ついたこと、商品の供給が安定したことを受けて、当時の京橋駅北側に日本で最初にスーパーマーケットの呼称を使った「京阪スーパーマーケット」を開業しました。



1957 (昭和32年)



### 日本初の空気ばね(エアサスペンション)台車

振動を緩和し、より快適な乗り心地を実現するため、日本で初めて台車に空気ばね(エアサスペンション)を採用。

1910 (明治43年)



### 京阪電車開業

4月15日、大勢の見物人と乗客が集うなか、天満橋駅～五条駅を結ぶ京阪電車が開業しました。開業日から3日間は運賃が半額で、開業を祝う催しが沿線の各地で開かれました。



### CSRの原点となった創立委員長・渋沢栄一の経営哲学

京阪電気鉄道株式会社は、「日本資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一を創立委員長として明治39年(1906年)に創立されました。「私利を追わず公益を図る」との考えを生涯にわたって貫き通した渋沢栄一の経営哲学は、「道徳経済合一説」に集約されます。それは現代におけるCSRそのもので、当社の創立の精神も「道徳経済合一説」に立脚しています。